

アムスルだより

No.34 1998年11月11日

Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所



〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

<http://www02.u-page.so-net.ne.jp/pb3/saburo>

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@ryukyu.ne.jp

美しい海の羽根



-ウミシダ-

海の中には、奇妙な生き物がいっぱいいます。特に背骨のない動物（むせきついでんぶつ無脊椎動物）の中には、変わった形の生き物が多く、一見しただけではどういう生活をしているのか分からないものがたくさんいます。研究所には、たくさんの研究者がやってきますが、こうした不思議な動物たちを研究する人たちも数多く訪れ、阿嘉島周辺の豊かな生物環境を利用して、いろいろな調査を行っています。先日もそうした研究者が、マレーシアからやって来ました。ウミシダを研究しているニックさんです。今回はニックさんに教わった不思議な生き物、ウミシダの話をしたと思います。

皆さんはウミシダという生き物をご存知でしょうか。岩場にすんでいる、‘シダ’と言うかヤシの葉っぱのようなものを十～数十本ひろげている動物です。ウニ、ヒトデ、ナマコ、クモヒトデと同じ仲間きよくひどうぶつで、棘皮動物に入ります。この葉っぱのようなものは、‘腕’と呼ばれる部

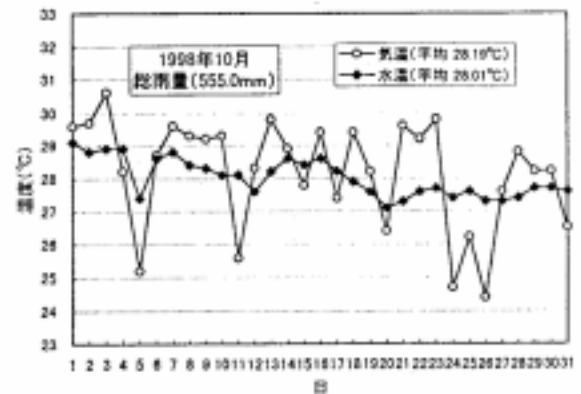
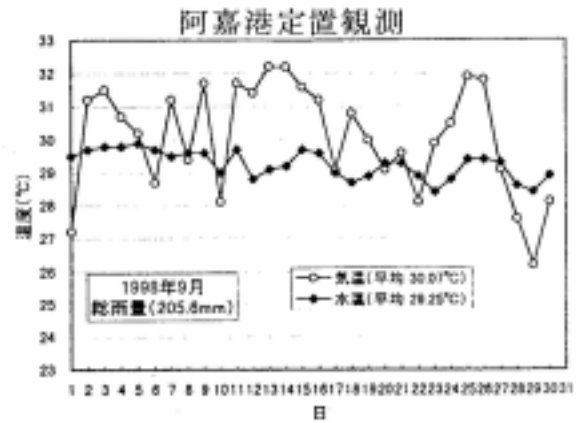
分ですが、この腕は、英語では“シー・フェザー”（海の羽根）とか“フェザー・スター”（羽根のヒトデ）などと呼ばれるように、羽根のような形をしています。ウミシダは、この羽根のような腕で海中のプランクトンなどを捕らえ、餌にしているのですが、その時使われるのが管足です。以前、「アムスルだより」でナガウニのことを紹介しましたが、ナガウニはこの管足を移動のために使っていました。ウミシダの管足も、ナガウニのものも、つくりはほとんど同じです。けれども、その使われ方が、ウミシダでは餌を捕らえるため、ウニでは移動のためと大きく違うのです。

では、ウミシダはどうやって移動するのでしょうか。ニックさんによると、ウミシダには、昼活動するものと夜行性のものがあるそうです。昼間、夜行性のは穴などに入り込み、腕の先端だけしか見ることができません。そして夜になると、岩の上に出てきて適当な場所で餌を捕るために腕を広げるということです。その時使われるのは、体の下側についている巻枝です。ウミシダの下側には岩にしがみついたための巻枝が放射状に並んでいて、観察していると、こ

れと腕とを器用に動かして移動していくようです。また、よっぽどその場所が嫌だったのか、時には、腕を振り動かし、流れによって泳いでいくことすらあります。岩の上でじっとしているとまるで植物のような生き物ですが、思った以上に移動する能力を持っているのです。

そうやってより生活しやすい場所へ移動していくせいでしょうか、ウミシダのたくさんいるところとそうでないところがあり、例えば、ヒズシやマエノハマ、マジヤノハマの岸よりの所には、数も種類もあまり多くありません。逆にサクバルやマジヤノハマのやや沖の方、そしてヤカビ島の北東では、さまざまな種類のウミシダを比較的たくさん見ることができます。そして、ニックさんの調査の結果、慶良間の海には、どうやらおよそ25種ものウミシダがいることが分かりました。

さて、最後にもう一つ、ウミシダと一緒に生きている生き物の話をしておきましょう。ウミシダの腕の間を注意深く見てみると、カニやエビ、魚などが見つかることが多いのです。面白いことに、これらの動物はすんでいるウミシダと同じような美しい色で見事にカムフラージュし、魚などの天敵の目をくらましています。また、ウミシダの複雑な形の腕によって、守られているのです。では、ウミシダにはどんな得があるのか、と言うと、残念ながらまだその答えは分かっていません。ニックさんをはじめとした研究者の、これからの研究が期待されています。



阿嘉島の海より

-白化サンゴの回復-

前回、サンゴの共生藻が抜けて白くなる白化の話をしました。その後、白化したサンゴがどうなっているのか、皆さんも心配されていることでしょう。先日、東京で開催された日本サンゴ礁学会では、過去に例のない大きな規模で起こったサンゴの白化について議論を行い、実態解明のための継続的なモニタリングが必要であることを合意しました。阿嘉島周辺において、礁池内などの浅い場所では、多くのサンゴが死んでしまいましたが、サンゴ礁の外側など、場所によっては多くのサンゴが生き残っており、回復に向かっています。研究所では、これからも大切な慶良間のサンゴ礁の調査・研究を続けていきます。